

(目的)

第1条 本奨励賞は故島藺安雄先生の御功績を称え、先生の生前の御遺志と御家族のお気持ちを尊重して、日本の若い精神医学徒の精神医学と精神医療における功績を顕彰し、さらなる向上発展を奨励することを目的とする。

(受賞対象)

第2条 本賞の受賞者は、該当年（1月～12月）に原著論文を発表し精神医学に学術的に貢献した会員1名、および該当年までに精神医療の発展に貢献した会員1名（あるいは会員の所属する1団体）とする。ただし、原著論文応募対象者は推薦時に年齢が40歳未満で、両賞とも受賞対象者は会員歴2年以上とする。

(受賞内容)

第3条 本賞の受賞者には総会において、賞状および副賞が授与され、また講演をしてもらうこととする。

(受賞者選考)

第4条 本賞の受賞者を選考するために奨励賞選考委員会を置く。

本委員会は理事10名程で構成され、年度毎に交代する。なお、委員長は委員の互選によって決定する。

第5条 選考委員会は本学会会員から受賞候補者の推薦を募る。

第6条 委員長は選考結果を理事会にはかり、受賞者を決定する。

1999年1月16日制定

2000年11月18日一部追加・変更

2007年11月17日一部追加・変更

2013年9月21日一部追加・変更

2014年9月20日一部追加・変更

2018年11月17日一部追加・変更

2019年9月21日一部追加・変更

2020年9月19日一部追加・変更

2022年3月19日一部追加・変更

申し合わせ事項

1. 学会誌に推薦募集を告知する。
2. 被推薦者はその推薦者にはなれない（自薦はできない）。選考委員は本賞の推薦者にはなれない。
3. 推薦の際に会員は、(1) 推薦書および推薦理由、(2) 受賞候補者の履歴書、および(3) 参考となる資料（業績目録、書籍、映像など）をそろえて選考委員会に提出する。
4. 精神医学奨励賞については以下の4項目について評価を行う：①科学的先駆性と独自性、②学問的貢献度と波及効果、③候補者の研究活動の継続性と発展性、④他の観点も加味した総合的意義。精神医療奨励賞については以下の4項目について評価を行う：①臨床的先駆性と独自性、②社会貢献度と波及効果、③活動の継続性と発展性、④他の観点も加味した総合的意義。
5. 精神医学奨励賞については、原則として国内で個人が主体的に行った研究を評価し、原著論文の筆頭著者を対象

とする。

6. 精神医療奨励賞の受賞候補の推薦にあたっては、受賞対象が個人か団体かを明瞭に記載してもらおう。精神医療奨励賞に団体を推薦する場合、その団体に所属する会員は推薦者にはなれない。
7. 受賞者への連絡は選考委員長がおこなう。
8. 副賞は10万円相当のものとする。
9. 当該年度に受賞しなかった医療奨励賞候補者・団体については、次年度以降も再推薦することができる。
10. 対象論文として、in press 論文の推薦も受け付けるが、推薦時までには出版組織が論文を公開していない場合は、論文の受理を示す書類を添付すること（通知メールも可）。ただし、受賞者決定までには出版組織による公開とならなかった場合は、受賞の対象とならない。